

衝撃部門委員会委員の研究装置紹介

研究室名 (研究機関名称から正確に)	室蘭工業大学 工学部 機械システム工学科 材料力学研究室		
教員 (職名, 氏名)	教授 臺丸谷 政志 ----- 助教授 藤木 裕行		
連絡先 (所在地, TEL, FAX, E-mail)	所在地	〒 050-8585 北海道室蘭市水元町 27-1	
	TEL	0143-46-5318	
	FAX	0143-46-5340	
	E-mail	masashi@mmm.muroran-it.ac.jp	
研究室紹介	(1) 研究内容	◎ 各種材料の衝撃特性評価 ○溶接継手の衝撃引張特性 ○セラミックス, コンクリート等の脆性材料の衝撃引張測定法と特性評価 ○金属材料の衝撃引張特性・圧縮特性 ◎スポーツ・武道に関する衝撃工学的研究 ○格闘技における打撃力の計測法と評価 ○日本刀のアセンブリ技術と衝撃特性	
	(2) 最近の主な刊行物 (過去5年程度)	◎学術論文 ○津田 紘, 臺丸谷政志, 小林秀敏, 「自動車用鋼板レーザー突合せ溶接継手の衝撃引張変形強度」, 材料, Vol. 54, No. 9, (2005-9), pp. 921-926. ○臺丸谷政志, 小林秀敏, 志澤秀康, 「反射引張り応力波によるモルタル材の衝撃引張り強度測定と評価法の検討」, 材料, Vol. 50, No. 3, (2001-3), pp. 217-222. ○臺丸谷政志, 「日本刀を模擬した梁の衝撃応答－何故竹目釘で刀身と柄は接合され得るのか－」, 検査技術, Vol. 11, No. 5, (2006-5), pp. 12-16. ◎著書 ○臺丸谷政志, 小林秀敏, 「基礎から学ぶ材料力学」(第1版第3刷), (2006-3), 森北出版.	
	(3) 主な研究装置 (代表的な装置の型番・性能や使用可能な試験片形状寸法等)	◎研究室で開発した衝撃試験装置 ○圧縮型スプリット・ホプキンソン棒衝撃装置 (衝撃棒径: 10, 20 mm 棒材質: 工具鋼) ○引張型(反射引張応力波)スプリット・ホプキンソン棒衝撃装置(入・出力棒径: 10, 20, 30, 50mm 棒材質: 鋼, アルミ合金) ○円管落錘式引張型スプリット・ホプキンソン棒装置(円管内外径: 35.5mm, 42.7mm, 長さ: 2000mm) ◎研究室所有の試験機 ○インストロン 5586 型万能試験機(秤量: 300kN) ○インストロン 5566 型万能試験機(秤量: 10kN) ○シャルピー式衝撃試験機(東京衡機)	